

(別紙3)

発米教文第247号

平成26年7月31日

(施設名) 米子市埋蔵文化財センター  
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団  
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 野坂 康夫

### 平成25年度「米子市埋蔵文化財センター」指定管理者業務評価書

施設名	米子市埋蔵文化財センター
施設所管課	教育委員会事務局 文化課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日(3年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

協定書及び事業計画書に示された水準を遵守し、その基準に沿った適切な管理内容であった。また、利用促進業務、利用状況、維持管理業務、自主事業については、優れた水準であった。今後は、その他の項目についても更なる水準の向上を図るため、工夫した取組みが行われることに期待したい。

##### 【第三者評価】

- ・ 白鳳の丘展示館の方に人が流れているので、利用者が少ないのは仕方がないと思う。
- ・ 十分な施設とはいえないが、逐次、収蔵庫・空調設備等の取替えが行われていて良い。今後とも逐次適正な改善を希望する。
- ・ 小学校を改修して使用している割に、事務局・作業スペース等配置も適当であり、きれいな印象を受けた。特に展示室の展示ケース等が新しいもので、展示資料も映えているようであった。現在、付近に工事現場があり、工事車両の交通も多い。道案内を的確に行ってほしい。
- ・ 資料の保存・調査・研究の施設として活用されており、情報発信の施設としても充実しているように思った。
- ・ 職員研修を進めるのであれば、研究会参加のための旅費等を予算計上すべきだと思う。
- ・ 日常の管理に配慮されている状況がよくわかる。
- ・ 適切である。
- ・ 展示室の利用は近隣小学校(五千石)が主な対象でしょうが、平日(授業で)のほかの小学校にも宣伝してみてもどうだろうか。展示室の照明・空調も来場者あってのことだと思うので。

- ・ 協定書に基づき、質の高い管理が履行されていることが読み取られる。
- ・ 安全対策や緊急時における連絡体制等が整えられており、良いと思う。
- ・ 利用者数が少ないせいもあるが、利用者アンケートの回答数がもう少し増えれば、事業の検証もしやすいと思う。
- ・ 施設展示のみならず、施設外事業が企画されていることは非常によい。積極的に展開されている点は高く評価。
- ・ 調査研究・教育普及・展示、収蔵保管も良好に行われている印象を受けた。
- ・ 細かな事業が展開されていることが伺われる。
- ・ 常設展・企画展も工夫され、また他の施設との連携もとられており、良いと思う。ホームページのリニューアルも行われていて、興味を引くようになっている。

## 【今後の業務改善方策等の特記事項】

### 【施設所管課】

今後も、利用者の一層の増加につながる展示事業や様々なソフト事業が継続的に実施されることに期待したい。

### 【第三者評価】

- ・ 福市考古資料館と一体化させた運営はできないものかと思う。収支状況の事務局費についてはよく分からないが、別々に支出しなければならぬのなら、小額ずつの活用しかできないと思う。
- ・ 埋蔵文化財センターとしては、文化財の調査が重要である。しかし、その点が評価表に表れないのが残念である。
- ・ 平成26年度米子市埋蔵文化財センター事業計画「2. 重点施策」の(2)について提案する。  
「(2) 埋蔵文化財資料の整理、保管研究」とあるが、提案として『客員研究員』制度を創設していただきたい。
  - ①資料整理・保管研究への協力。
  - ②埋蔵文化財センター常設展示の立案への協力。
  - ③テーマを絞った「ブックレット」の発行。
  - ④米子の歴史の『時代史』の書ける人材育成。
- ・ 展示内容について、近年の発掘調査成果を即時公開しているものと思うが、福市考古資料館の展示との区分を決められているのか、分からなかった。
- ・ 季節や年齢層・世情を考慮して、タイムリーに事業が展開されますことを期待する。
- ・ 他の施設との連携はとても重要なので、続けられると良いと思う。
- ・ 利用者アンケートと合わせて、インターンシップで受け入れた高校生の感想なども資料に入っていると、今後の方向性のヒントになるのではないだろうか。

(別紙2)

## 平成25年度 下期「米子市埋蔵文化財センター」モニタリング評価表 [平成26年7月]

施設名	米子市埋蔵文化財センター	
施設所管課	教育委員会事務局 文化課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日	
選定方法	公募・ <b>非公募</b>	
施設の設置目的	埋蔵文化財の保存及び活用を図ることにより郷土の歴史に関する理解を深め、もって市民の文化的向上に資する。	
主な実施事業	埋蔵文化財の適切な保存管理、整理研究等の調査研究、調査成果の展示や普及活用事業を行う。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員配置がなされ、緊急時における連絡体制、マニュアル等が整えられている。 資料等確認、立入調査
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	事業計画書に基づき、計画的に研修を受講している。 資料等確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	常設展・企画展の無料化や、チラシ、ホームページ、広報等により展示・講座等の周知を図っている。また、最新発掘情報コーナーの展示替えを実施したほか、ホームページのリニューアルも行った。 資料等確認、立入調査
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか <b>補足資料※1</b>	A	今年度は利用者数がやや増加しており、適切な水準を維持している。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	アンケートの実施、窓口対応を通じて要望の把握を実施し、適切な実現策が行われている。 資料等確認、立入調査
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われている。第三者による保守点検業務は最小限のものである。

			資料等確認
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われている。第三者による清掃業務は、最小限のものである。 資料等確認
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われている。 資料等確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われている。 資料等確認
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	事業計画書に沿って、展示・ソフト事業等を適切に実施した。 資料等確認、立入調査
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報取扱方針を作成し、個人情報を慎重に取り扱っている。 資料等確認
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	施設のあり方を正しく認識しており、事業計画書に具体的な提案がなされている。 資料等確認
<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	事業計画書により利用者への具体的なサービス向上策が提案されている。 資料等確認
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	職員による日常の維持管理が適切に行われていたことに加え、収蔵庫空調設備の取替えや枯れ木の伐採、側溝の泥上げ清掃を行うなど、施設全体が良好な状態で保たれている。 資料等確認、立入調査
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	事業計画書により利用者への具体的なサービス向上策が提案されている。利用者への接客・対応は適切である。 資料等確認、立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	施設の設置目的に沿って、展示・探訪ウォーク・講座といった多岐にわたる事業を積極的に展開した。

			資料等確認、立入調査
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	施設設置目的の達成に資する管理内容であった。 資料等確認

### Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか <b>補足資料※2</b>	B	事業収支の結果は妥当であった。 資料等確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか <b>補足資料※3</b>	B	経営状況分析指標の結果は妥当であった。 資料等確認
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか <b>補足資料※4</b>	B	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であったため。 資料等確認

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>協定書及び事業計画書に示された水準を遵守し、その基準に沿った適切な管理内容であった。また、利用促進業務、利用状況、維持管理業務、自主事業については、優れた水準であった。今後は、その他の項目についても更なる水準の向上を図るため、工夫した取り組みが行われることに期待したい。</p>	<p>合計点 (68) 点 / (100) 点 × 100 = (68)</p> <p>平均点 (3.4) 点</p>
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成25年4～3月〕 A	前年度〔平成24年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	245日	245日	0日、100 (%)	
施設利用者数	1,494人	1,473人	21人、101.42 (%)	
施設稼働率	100%	100%	0、100 (%)	
事業開催数	23	20	3、115.00 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成25年4～3月〕 A	前年度〔平成24年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	0円	0円	0円、100 (%)	
指定管理料	2,889,000円	2,884,000円	5,000円、100.17 (%)	
自主事業収入	9,100円	16,800円	-7,700円、54.16 (%)	24年度開催の有料ソフト事業に多くの参加者があったため。
雑入	48,240円	52,060円	-3820円、92.66 (%)	
その他	0円	0円	0円、100 (%)	
合計	2,946,340円	2,952,860円	-6,520円、99.77 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔平成25年4～3月〕 A	前年度〔平成24年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	819,714円	821,188円	-1474円、99.82 (%)	
施設管理費	1,593,208円	1,727,955円	-134,747円、92.20 (%)	
通信運搬費	103,768円	103,427円	341、100.32 (%)	
手数料	29,375円	29,375円	0円、100 (%)	
備品購入費	0円	63,473円	-63,473円	昨年度は管理に伴う備品を購入したため。
消耗品費	111,530円	295,500円	-183,974円、37.74 (%)	管理に伴う消耗品の購入が減少したため。
修繕費	85,050円	342,701円	-257,651円、24.81 (%)	
印刷製本費	75,600円		75,600円	
燃料費	57,234円	5,288円	51,946円、1082.33 (%)	当施設負担割合が増加したため。
光熱水費	108,790円	90,701円	18,089円、119.94 (%)	
租税公課	48,700円	48,000円	700円、101.45 (%)	
賃貸料	236,271円		236,271円、-	パソコン、プリンター等の貸借に伴うもの。
委託費	736,890円	749,490円	-12,600円、98.31 (%)	
警備費		126,000円	円、(%)	

清掃費		128,100円	円、(%)	
消防保守点検		119,700円	円、(%)	
浄化槽保守		375,690円	円、(%)	
案内板委託		0円	円、(%)	
<b>事業費</b>	<b>320,635円</b>	<b>207,358円</b>	113,277円、154.62(%)	
旅費	61,880円	0円	61,880円	研究会参加のための旅費が必要になったため。
消耗品費	51,882円	126,786円	-74,904円、40.92(%)	24年度に展示用品を購入したため。
印刷製本費	190,575円	69,300円	121,275円、275.00(%)	研究報告の費用によるもの。
負担金	16,298円	11,272円	5,026円、144.58(%)	25年度は体験ツアー負担金を支払ったため。
<b>事務局費</b>	<b>164,000円</b>	<b>166,000円</b>	-2,000円、98.79(%)	
合 計	2,897,557円	2,922,501円	-24,944円、99.14(%)	

### ※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔平成25年4～3月〕 A	前年度〔平成24年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	備 考
①事業収支	48,783円	30,359円	18,424円、160.68(%)	
②利用料金比率	0%	0%	0、—(%)	
③人件費比率	28.28%	28.09%	0.19、100.67(%)	
④外部委託費比率	25.43%	25.64%	-0.21、99.18(%)	
⑤利用者当たり管理コスト	1939.46円	1984.04円	-44.58円、97.75(%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	1933.73円	1957.90円	-24.17円、98.76(%)	

#### ①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

#### ④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

#### ⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

### ※4 団体等の経営状況 (年度毎下期に実施し、上期では行いません。)

項 目	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	備 考
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-----

①自己資本比率	61.0	55.6	61.8	63.1	54.9
②流動比率	262.0	229.3	273.9	288.1	230.7
③固定長期適合率	9.4	10.0	10.1	11.5	14.2
④総資産経常利益率	6.5	1.6	1.3	-1.5	-6.4
評価	(以上の指標を参考に評価する。)				

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

#### ①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

【公益法人会計の場合：正味財産計÷資産計×100】

#### ②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

#### ③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

【公益法人会計の場合：固定資産÷(固定負債+正味財産計)×100】

#### ④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

【公益法人会計の場合：正味財産増減額÷総資本×100】



■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

（回答者 4名）

1. 当館の所在をどこでお知りになりましたか？

観光案内等で 1  
 ネットから 2  
 知人から 0  
 その他 1（道すがら）

2. 当館の場所はすぐわかりましたか？

すぐわかった 4      わかりにくかった 0

3. どちらの方面からお越しになりましたか？

市内 1      市外 3 (京都1、三重1、記載なし1)

4. 展示内容は分かりやすかったですか？

はい 3

いいえ 1

5. 興味を引かれた展示物がありましたか？

はい 4 (緑釉陶器、こしき形土器、刀、ナスビ形鋤)

いいえ 0

6. 当館へのご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

- ・ もう少し展示のキャプションを工夫してください。